

◎カレーホームパーティーブームとは何か？その背景と理由

家に集まり、カレーホームパーティー(カレパ)を開催する家庭が近年急増している。それでは、カレパとはどのようなものなのか？そして、浸透・拡大している要因とは一体何か？その理由と背景を考察してみる。

【カレーホームパーティーの定義】

家庭はもちろん、職場や地域の集まりなど、様々なシーンでカレーを持ち寄って行うパーティーのこと。元々、欧米ではホームパーティーが生活に定着していたが、日本には根付いていなかった。しかし、日本でも海外駐在経験者やセレブが頻繁に実施していることで、普及しつつある。

◆日本人のホームパーティーはカレーでの実施が多い！

日本人がホームパーティーを実施する場合は、カレーで実施することが多い。カレーは国民食であるため、カレーを好きな人が多く誘いやすいことに加え、作りやすいためである。さらに近年はカレーのバリエーションが増え、多種多様なカレールウやレトルトカレーが販売されたことなども要因といえる。



インド・スリランカ
カレーパーティー風景

【カレーホームパーティーブームの背景】

外的要因

近年の日本の社会状況が大きく影響

【法律改正①働き方改革】

働き方改革が浸透している上、2019年4月1日からは「働き方改革関連法」が順次施行される。これにより、徐々に時間に余裕が生まれることが想定され、ますます家でホームパーティーを開く機会が増える。

【法律改正②入国管理法改正】

入国管理法の改正で、海外からの労働者が増加するため、それに伴い、ホームパーティーが増える。

【東京オリンピック】

2020年の東京オリンピック開催を控え、海外からの旅行者が増加。日本人のアイデンティティに対する深考などにより、「カレー」が再認識されている。

内的要因

日本人はカレー好きであり、 皆の前で披露したいという意識が強い

日本人にはカレーを好きな人が多く、尚且つカレーは作りやすいため、日本ではカレーがホームパーティーには最適。また、幼い頃から母親や父親が愛情を込めて作ってくれたカレーの味の記憶が残っており、自分の家庭ご自慢のカレー(手前味噌ならぬ「手前カレー」)を皆にも食べてもらいたいという意識が強く、カレーホームパーティーはカレーを披露する場として最適である。

また、レトルトカレーの進化やルウなどカレー商品の多様化により、短時間で簡単に複数のカレーが自宅で作れるようになり、味の個性も表現しやすくなったことも、カレーホームパーティーが広まっている要因である。

カレーホームパーティー実施者の増加！

《流行の理由》海外文化の浸透、インドカレーの普及、様々な種類のカレーの認知アップが、カレーホームパーティーブームを加速させている。

- 海外文化の浸透でホームパーティーをカレーで開催する人が日本でも増えている。日本で開催する場合は、国民食でメニューの認知度が高く、好きな人が多い(嫌いな人がほとんどいない)、誘いやすく開催しやすい。また、開催する側のホスト役もカレーであれば作りやすく、多くの種類が提供できる。さらに、うんちくが語れることで場が和みやすい。
- インドカレーの普及とともにホームパーティー形式(複数のカレーを大皿で取り合訳シェアして食べる)が日本でも浸透。インド料理はシェアして飲茶のように食べるのが常識。これがインドカレーブームとともに日本のカレー愛好者や、若者の間で定着しており、今後は一般にも普及していく兆しがある。
- 従来の欧風カレーだけでなく、キーマカレー、スープカレー、インドカレーなど幅広いカレーの種類が知られることにより、カレーを提供し数種類を楽しめるパーティー向けの食にレベルアップした。
- カレーツウはもとより、海外駐在経験、セレブ、芸能人、カレー愛好者などはカレーパーティーを既に頻繁に開催している。その存在が知られることになり、浸透しつつある。